

6月播種と平床定植によるスムーズな生育！！

「岩津ねぎ」の新作型開発

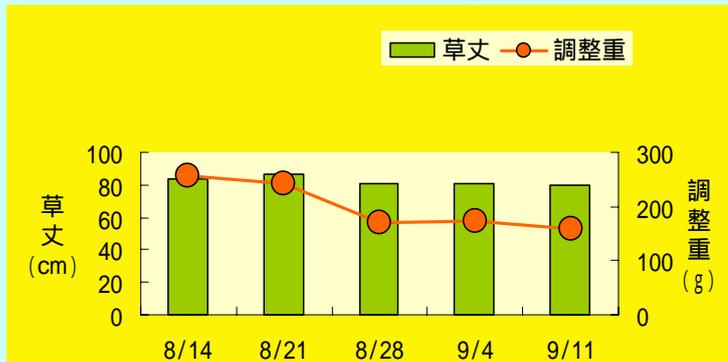
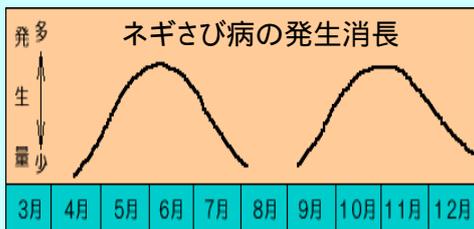
セルトレイへの6月播種は、育苗時のさび病が回避でき、8月中下旬の平床植えにより、慣行と同等の収量が得られます。

慣行地床苗は、平床に機械植付け可能で、定植の労力軽減と土壌環境改善による順調な生育が得られます。

育苗時のさび病回避とスムーズな生育が確保！！

6月播種、8月定植作型、平床栽培

「岩津ねぎ」のさび病は、5～6月と収穫期に発病ピークがあります。慣行の育苗期には、罹(り)病した株が伝染源となることから、6月の播種と8月の平床植えを組み合わせると、さび病を回避でき生育も旺盛となります。



定植時期 (平床植え)
 図 定植時期が草丈と調整重に及ぼす影響
 (播種日; 6月中旬)



慣行苗も平床に機械植え可能となりました



慣行地床苗を平床に機械定植可能



平床栽培によりネギの初期生育は旺盛